

教職員の皆さんへ

サマーセミナー受講生募集

平成28年度教職員サマーセミナー案内

夏季休業を利用して、今日的な教育課題についての見識を深め、教職に関わる教養を高め、幅広い教師力を身に付けませんか。明日の教育活動に役立つ講座を用意しています。

講座案内

11講座を開きます。詳細は、

- 宇都宮大学教職センターのホームページ

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/facility/cfte.php>

- 栃木県総合教育センターのホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

に記載されています。

対象者

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教職員

会場と時間

宇都宮大学（峰キャンパス）において、9時30分から16時まで

申込み方法

7月6日（水）までに、次のいずれかの方法により申し込んでください。

- ① FAXによる申込み

2ページ目のFAX送信票に必要事項を記入して送信してください。

FAX番号：028-649-5334

- ② メールによる申込み

勤務校名、同電話番号、同FAX番号、申込者氏名、研修区分、

受講希望講座番号、受講希望講座名を明記して次のアドレスに送信してください。

kyosyoku@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

旅費等

宇都宮大学及び総合教育センターから旅費の支出はありません。また、受講する講座によっては、教材費がかかる場合もありますので、御承知おきください。

その他

① このセミナーは、初任者研修、教職2～5年目研修、養護教諭2～5年目研修、学校栄養職員2～5年目研修、教職10年目研修の選択研修の対象にもなっています。

② 会場の宇都宮大学（峰キャンパス）には自家用車で入構できます。大学へのアクセス及び構内案内は、宇都宮大学教職センターのホームページで確認してください。当日、正門案内所でも御案内いたします。

③ このセミナーに関する問合せは、宇都宮大学教職センター地域連携部門（028-649-5272）で承ります。

主催 宇都宮大学教職センター・栃木県総合教育センター

平成28年度 教職員サマーセミナー受講申込み FAX 送信票

送信先	宇都宮大学教職センター 教職員サマーセミナー担当 宛			FAX	028-649-5334		
発信元 (申込者)	勤務校名	立			学校		
	電話番号	—	—	FAX番号	—	—	
	申込者 氏名	(ふりがな)					
	研修区分	選択研修として受講を希望される方は、該当の口欄に ○ をご記入ください。 <input type="checkbox"/> 初任者研修 <input type="checkbox"/> 教職2～5年目研修 <input type="checkbox"/> 養護教諭2～5年目研修 <input type="checkbox"/> 学校栄養職員2～5年目研修 <input type="checkbox"/> 教職10年目研修					

希望	講座 番号	講座名	分野	講師	実施日	定員	対象教員	その他
	1	特別支援教育における ICF 支援シート活用	特別支援教育	池本喜代正	7月25日 (月)	50名	小・中・高・特	/
	2	楽しみながら学べる理科実験	中学校理科 1分野	南 伸昌	7月26日 (火)	25名	小・中・高・特	☑
	3	アクティブ・ラーニングを授業研究する	授業研究・ 授業方法	溜池 善裕	7月27日 (水)	40名	小・中・高	/
	4	異文化理解の教育を考え、創る： 講義とワークショップ	国際理解教育	丸山 剛史 森田香緒里 立花 有希	7月28日 (木)	35名	小・中・高・特	/
	5	発達障害児へのアセスメントと個別支援	特別支援教育	原田 浩司	7月29日 (金)	72名	小・中・高・特	☑
	6	アクティブ・ラーニング入門	授業方法	皆川 純男	7月29日 (金)	30名	高	/
	7	発育期における体育・スポーツ指導のあり方	保健体育	加藤 謙一	8月1日 (月)	20名	小・中・高・特	☑
	8	ヤング図形の数理	数 学	三橋 秀生	8月8日 (月)	20名	小・中・高・特	/
	9	授業に役立つ情報メディアの活用と 学習指導入門	情報教育	川島 芳昭	8月9日 (火)	25名	小・中・高・特	☑
	10	道徳科授業の教材と発問	道徳教育	和井内良樹 上原 秀一	8月17日 (水)	100名	小・中	/
	11	今さら聞けない英文法：形、働き、 日英比較の観点からの再点検	英語学、 教材論	天 沼 実	8月17日 (水)	35名	中高英語科 担当教員	/

☆注 意 ☑を付した講座については、御準備いただくものや参加に当たって御注意いただくことがありますので、ホームページを御確認下さい。

(備 考)

- 1 参加を希望する講座の希望欄に○を付けてください。(複数選択可)
- 2 各講座の詳細は、宇都宮大学教職センターまたは総合教育センターのホームページでご確認ください。
- 3 申込期限は、7月6日(水)です。
- 4 定員を超えた場合は先着順とします。状況によっては、多少の増員をする場合もあります。
- 5 受講の可否は、7月中旬頃に各所属長あてに通知します。
- 6 申込みの際は、本送信票をコピーしてお使いください。

講座案内

会場・開講時間はいずれも、
宇都宮大学(峰キャンパス)・
9時30分～16時です。

7月25日(月) 分野:特別支援教育

1. 特別支援教育における ICF 支援シート活用

講師：池本 喜代正

会場：5C21教室（地域連携教育研究センター 2階）

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：50名

準備等：特になし

概要： 通常の学級や特別支援学級などに在籍する特別な支援が必要な子どもの見方・支援の在り方を、WHOのICF（国際生活機能分類）の視点からICF支援シートを活用して検討します。まずは、ICFの考え方を講義・理解していただき、実際に支援シートに子どもの実態を記入し、支援方法・手立てについて討議しながら考えたいと思います。

ICF支援シートを作成することは、個別の指導計画作成の基礎となります。個別の指導計画作成の上での考え方や手立てについても言及したいと思います。

7月26日(火) 分野:中学校理科1分野

2. 楽しみながら学べる理科実験

講師：南 伸昌

会場：理科教育学学生実験室（8号館C棟 3階）

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：25名

準備等： 白衣もしくは汚れてもよい服装、安全めがね（貸し出し可）、タオル。実験しやすい、楽な格好で来てください。平成27年度実施の免許更新講習と内容の重複があります。内容を一部変更する場合があります。

概要： 実験を通じて、中学校理科1分野の、以下の内容についての理解を深める。

- ・光：陽炎やシュリーレン現象、全反射など、身近な屈折現象。
- ・運動とエネルギー：重力加速度の測定、斜面上の運動。
- ・電流と磁界：超簡単モーターの作成。
- ・気体の性質：水素の発生と性質の確認。
- ・化合：銅の酸化の定量実験。
- ・水溶液とイオン：酸・アルカリとは。電気泳動。化学電池。

7月27日(水) 分野:授業研究・授業方法

3. アクティブ・ラーニングを授業研究する

講師：溜池 善裕

会場：UUプラザ2階 コミュニティフロア

対象教員：小学校・中学校・高等学校

定員：40名

準備等：特になし

概要： 授業記録（逐語記録）をもとにした授業研究を実施し、その具体的方法について学習します。この授業研究は、授業展開の方法について、授業記録にあらわれた事実をもとにした具体的議論を行うもので、校内研修が生き生きとし、学校全体が活性化することが既に実証されています。教師の目が子ども達一人ひとりの「学習」を捉えようとするようになり、その結果、授業が空回りせず、子ども達が良くなることを実感出来るためです。取り上げるアクティブ・ラーニングの授業は、70年以上の蓄積がある「奈良の学習法」による授業（小学校）を予定しています。

7月28日(木) 分野:国際理解教育

4. 異文化理解の教育を考え、創る：

講義とワークショップ

講師：丸山 剛史、森田 香緒里、立花 有希

会場：UUプラザ2階 コミュニティフロア

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：35名

準備等：特になし

概要： このセミナーは、異文化理解、国際理解の教育をテーマとしています。セミナーでは、（1）参加者が異文化問題や国際理解教育で困っていることや関心事を出し合い、（2）異文化理解・国際理解に関する教育について、外国人児童生徒教育における取り組み、諸外国（ドイツや英語圏の国など）における取り組みを紹介しながら、（3）ワークショップにおいて指導計画・授業を参加者全員で考えます。

7月29日(金) 分野:特別支援教育

5. 発達障害児へのアセスメントと個別支援

講師：原田 浩司

会場：教育学部 大会議室（8号館C棟 2階）

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：72名

準備等：筆記用具、ストップウォッチ、計算機（スマホ等でも可）

概要： 特別支援教育の中でも通常学級における発達障害児への個別支援の在り方が問われています。特に、通常学級では早期発見・早期支援の可否が、子どもたちの学校生活の適応に大きな影響を及ぼします。

今回は、発達障害のアセスメントについての方法を体験的に学んだり、事例を通じた個別支援の在り方を考えたりしていきます。

7月29日(金) 分野:授業方法

6. アクティブ・ラーニング入門

講師：皆川 純男

会場：UUプラザ2階 コミュニティフロア

対象教員：高等学校

定員：30名

準備等：特になし

概要： 次期学習指導要領にアクティブ・ラーニング（以下、AL）が導入されることが濃厚になりました。AL導入の背景やALに取り組んでいる高等学校の事例、AL型授業の具体的な方法を紹介します。また、参加者が日頃の授業の現状や課題について話し合う時間を設定します。

一方通行型授業からAL型授業に転換し、生徒が居眠りしないで生き生き学ぶ、そんな授業に改善するきっかけを見いだしていただければと思います。

8月1日(月) 分野:保健体育

7. 発育期における体育・スポーツ指導のあり方

講師：加藤 謙一

会場：5C21教室（地域連携教育研究センター 2階）及び、
第一体育館

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：20名

準備等：トレーニングウェア（着替え等）、体育館シューズ、はさみ。講義だけではなく、実技も予定しているのでケガには十分注意してご参加下さい（見学可）。実技内容はハードではないのでご安心下さい。

概要： 現在の子どもが置かれている環境を示しながら、子どもの体力低下に歯止めをかけるための具体的な考えやその方法について紹介します。また、基本的な動作に関する観察の観点を示し、指導者に必要な運動観察力を高める演習も行います。さらに基本的な動作に関する動きの実技・指導を通して体育授業を効果的にすすめる方法についても扱います。

8月8日(月) 分野:数学

8. ヤング図形の数理

講師：三橋 秀生

会場：8A23教室（教育学部8号館A棟 2階）

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：20名

準備等：特になし

概要： 本講座では、組合せ数学の中から、他分野とのつながりを深めながら、現在も活発な研究がおこなわれている、ヤング図形について紹介します。ヤング図形に関する恒等式や、ヤング図形に対する操作を通じ、ヤング図形の代表的な性質を考察します。

8月9日(火) 分野:情報教育

9. 授業に役立つ情報メディアの活用と学習指導入門

講師：川島 芳昭

会場：計算機室（教育学部8号館F棟 2階）

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：25名

準備等：学校や自身で抱える情報教育に関する悩みや問題があれば準備しておいてください。当日それを基に議論します。（事前提出不要）

概要：本セミナーは主に情報教育に対して苦手意識を持っている先生やこれから始めようと考えている先生に向けた入門編として行います。内容は、学校教育の情報化や情報教育の内容・方法について具体的な事例を基に検討します。さらに、コンピュータやネットワークなどの情報メディアを用いた学習指導用のコンテンツを授業で活用するための基本的な概念や方法を検討します。

8月17日(水) 分野:道徳教育

10. 道徳科授業の教材と発問

講師：和井内 良樹、上原 秀一

会場：5C21教室（地域連携教育研究センター 2階）及び、
教育学部 大会議室（8号館C棟 2階）

対象教員：小学校・中学校

定員：100名

準備等：特になし

概要：平成30年に小学校で、平成31年に中学校で、「特別の教科道徳（道徳科）」が導入されます。児童生徒の道徳性の育成に向けて、道徳科の授業ではどのような教材をつかってどのように発問をすべきでしょうか。具体的な材料を使ってこれらの問題を考えていただきます。小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、中学校の各段階で用いられる代表的な教材を取り上げて、グループワークを中心とした講習を行います。

11. 今さら聞けない英文法：

形、働き、日英比較の観点からの再点検

講師：天沼 実

会場：8A21教室（教育学部8号館A棟 2階）

対象教員：中学校・高等学校の英語教員

定員：35名

準備等：辞書等、常識的に携帯しているもの以外は特段必要ありません。

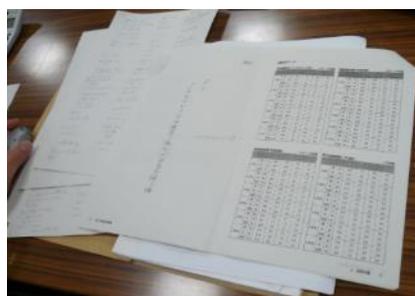
概要：英文法における「文型」や「構文」、「語法」などからいくつか例を取り上げ、意味・情報構造や発話行為などの機能的観点から、日本語との比較も交えつつ、用法を観察（および分析）することにより、教材研究・開発のための視座を養います。文法事項や言語材料に関して日頃抱えている説明や指導上の疑問や課題などを持ち寄ってください。

平成27年度開催の様子を紹介

講座名：発達障害児へのアセスメントと個別支援

午前は英国のディスレキシア（読み書き障害）の映像資料を視聴し、日本の問題と置き換えて講義行う。

午後は、MIM等の紹介と活用法の紹介と体験を行った。



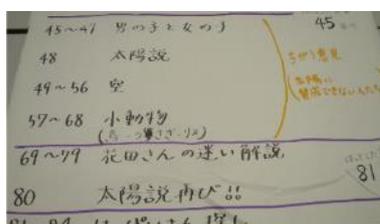
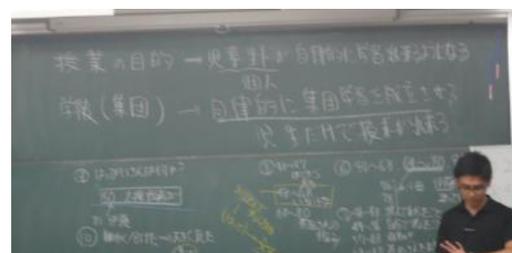
講座名：中学校国語科の教科経営

実際の授業を VTR で視聴し、具体的な授業構想についてグループ討議を行った。
後半は指導案を作成した。



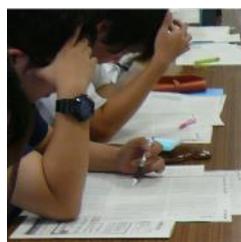
講座名：授業研究基礎

資料VTRを視聴して、分節をわけることの意味をグループワークで考察し、授業分析を実践した。



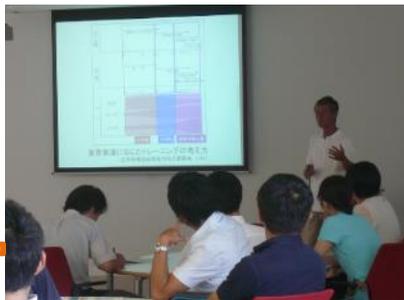
講座名：道徳授業の資料と発問

資料教材を元に、道徳教育についてワークショップを行った。



講座名：発育期における体育・スポーツ指導のあり方

午前は運動発達についての講義を行い、午後はフライングディスク等の実技を行った。



講座名：アクリル絵具を用いた小品制作

小品制作のメリット等・アクリル絵具の素材特性の講義を行った。後半は実際に小品を制作した。



講座名：子どもの育ちと性

現在の性問題や、性に関する健康と人権の現実を紹介し、学校教育における授業等のポイントについての講義を行った。



講座名：校内授業研究を中心とした学校改善

授業研究についての講義後、ワークショップを行った。



講座名：障害の重い子どもとの教育的係わり合い

映像資料（子どもとの教育実践の取り組みの様子）を用いて、その実践についての講義を行った。



講座名：放射線について体験的に学ぼう

午前は講義と放射線を測定する機器を用いて実際に線量を測定。午後はワークショップ（霧箱作成・実験）及び講義を行った。

